

ならしん景気動向調査レポート

(第32回) 2023年 3月期

奈良信用金庫 経営企画本部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2023年3月
2. 調査時点..... 2023年3月
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	37	94.9%
不動産業	17	15	88.2%
サービス業	12	10	83.3%
卸売・小売業	31	31	100.0%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	12	12	100.0%
全業種合計	134	128	95.5%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう134社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、128社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

2023年3月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期売上	前年同期収益	残業時間	人材
製造業	39	37	94.9%	29.7%	35.1%	-13.5%	2.7%	48.6%	13.5%	10.8%	-5.4%
不動産業	17	15	88.2%	20.0%	26.7%	13.3%	26.7%	26.7%	20.0%	20.0%	0.0%
サービス業	12	10	83.3%	30.0%	10.0%	10.0%	30.0%	30.0%	30.0%	10.0%	-10.0%
卸売・小売業	31	31	100.0%	3.2%	9.7%	-12.9%	-3.2%	35.5%	-3.2%	0.0%	-3.2%
建設業	14	14	100.0%	50.0%	50.0%	35.7%	35.7%	21.4%	21.4%	-7.1%	-14.3%
運輸業	9	9	100.0%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%	33.3%	11.1%	-22.2%	-11.1%
医療・福祉	12	12	100.0%	0.0%	-8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	-8.3%	-8.3%	-41.7%
全業種合計	134	128	95.5%	20.3%	24.2%	-0.8%	12.5%	32.8%	10.2%	3.1%	-9.4%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	18	18	13	23		
不動産業	8	6	1	13		
サービス業	6	4	5	4		
卸売・小売業	13	18	4	27		
建設業	9	5	1	13		
運輸業	3	6	5	4		
医療・福祉	4	7	5	6		
全業種合計	61	64	34	90		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	(2) <u>やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) <u>普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	(4) <u>やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社}{60.0\%} \right] - \left[\frac{(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社}{20.0\%} \right] = 40.0\%$$

全体
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
9.2%	20.3%	11.2%	22.1%	24.2%	2.1%	-2.3%	-0.8%	1.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
13.7%	12.5%	-1.2%	29.8%	32.8%	3.0%	13.7%	10.2%	-3.6%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-4.6%	3.1%	7.7%	-9.9%	-9.4%	0.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
46.5%	48.8%	2.3%	38.1%	27.4%	-10.7%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より11.2ポイント上昇し、良化傾向(20.3%)を維持した。変化幅を上方へと向かわせたのは主に「卸売・小売業」という結果になった。

売上についても、前回調査時とほぼ横ばいの推移となり良化傾向(24.2%)を維持。

収益面についても前回調査時より1.5ポイントの上昇となったものの、悪化傾向(-0.8%)を維持した。「卸売・小売業」、「運輸業」が上方へと向かわせる結果になった。

全体では前回同様に最も多くの企業が「仕入高・原材料高」を経営上の問題点として回答した。次点で「人手不足」、「経費の増加」、「利益幅の縮小」、「同業者競争の激化」と続いた。それらの解決策として「経費削減」「販路拡大」を当面の重点経営施策として挙げる企業が特に多く見受けられた。

特別調査では、円安進行に伴う資源高・原材料高の影響について企業に回答いただいた。資源高・原材料高への対応について最も回答が多かったのは「一部価格転嫁できている」で44社であった。前回調査時に「卸売・小売業」で「一部価格転嫁できている」と回答している企業が増加していたが、今回調査においてもほぼ横ばいの回答内容であった。信用金庫に求めることについては「資金繰り支援(融資スタンス)」を求める企業が64社と最も多く前回とほぼ同様であった。また前回は「地域情報」が次点に続いたが、今回は「事業課題の共有・相談」が次点に続いた。「事業回復に向けてのビジネスマッチング」を求める企業の増加も特徴的であった。

全業種合計の前年同期比売上は3.0ポイント上昇し、良化傾向(32.8%)を維持。前年同期比の収益については3.6ポイント低下したものの、こちらは良化傾向(10.2%)を維持した。

なお、設備投資を行ったのは全体の27.4%であり、前回調査から10.7ポイントの低下となった。

今後3ヶ月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より「やや悪い」「やや良い」と回答した企業が減少し、「普通」と回答する企業が増加した。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている17社 (2) 全く価格転嫁できていない4社 (3) 一部価格転嫁できている44社 (4) 概ね価格転嫁できている42社 (5) あまり影響を受けていない18社 (6) 今後影響を受ける見込みである4社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援64社 (2) 地域情報40社 (3) 業界動向28社 (4) 事業課題の共有・相談47社 (5) 補助金等の情報22社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング14社 (7) その他2社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」6社、「やや良い」23社、「普通」89社、「やや悪い」9社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」6社、「やや良い」26社、「普通」86社、「やや悪い」9社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」19社、「普通」90社、「やや悪い」15社、「悪い」0社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

**業種別
調査結果**

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
7.7%	29.7%	22.0%	23.1%	35.1%	12.1%	-15.4%	-13.5%	1.9%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
17.9%	2.7%	-15.2%	35.9%	48.6%	12.8%	7.7%	13.5%	5.8%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
2.6%	10.8%	8.2%	-12.8%	-5.4%	7.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
46.2%	50.0%	3.8%	41.0%	36.1%	-4.9%			

■概況 ※()内はDI値
 製造業全体の業況判断DIは前回調査時より22.0ポイント上昇し、良化傾向(29.7%)を維持した。
 売上金額については12.1ポイント上昇し、前回同様に良化傾向(35.1%)を維持した。
 原材料価格についても前回調査時と比較して19.5ポイント改善したものの、悪化傾向(-70.3%)を維持した。
 収益についても、前回比で1.9ポイント改善したものの、悪化傾向(-13.5%)を示した。

資金繰りについては前回調査時より15.2ポイント低下したものの、良化傾向(2.7%)を維持した。
 なお、借入によって資金調達を行った先は全体の50.0%であり、前回より増加した。

前年同期比売上は前回より12.8ポイント増加し、良化傾向(48.6%)を維持。
 また、同収益は前回調査時より5.8ポイント増加となり、良化傾向(13.5%)に転じた。
 残業時間については前回から8.2ポイント増加し、良化傾向(10.8%)を維持した。
 人材については7.4ポイント低下し、悪化傾向(-5.4%)を維持した。
 なお、設備投資を行った先は全体の36.1%で、前回より4.9ポイント減少している。

■経営上の問題点
 前回調査と同様に、経営上の問題点として「原材料高騰」が29社で最も多く、次点で「利益幅の縮小」が13社、「経費の増加」が12社と続いた。

■当面の重点経営施策
 重点経営施策としては「経費削減」が21社と最も多かった。次いで前回同様に「技術力・営業力強化」17社、販路拡大16社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている7社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている14社 (4) 概ね価格転嫁できている19社 (5) あまり影響を受けていない0社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援22社 (2) 地域情報5社 (3) 業界動向8社 (4) 事業課題の共有・相談21社 (5) 補助金等の情報11社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング5社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」6社、「普通」28社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」9社、「普通」25社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」27社、「やや悪い」4社、「悪い」0社

業況・売上金額に関しては前回調査に引き続き上昇した一方で、収益はほぼ横ばいに推移し、悪化傾向を維持する結果となった。また原材料価格においても前回調査から若干改善がみられたものの、悪化傾向を維持している。
 前回調査と同様に、原材料高による影響は大きく、経営上の問題点として「経費増加」や「利益幅の縮小」と回答する企業が増加した。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
18.8%	20.0%	1.3%	31.3%	26.7%	-4.6%	12.5%	13.3%	0.8%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
12.5%	26.7%	14.2%	37.5%	26.7%	-10.8%	31.3%	20.0%	-11.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	20.0%	20.0%	-12.5%	0.0%	12.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
46.7%	57.1%	10.5%	13.3%	7.1%	-6.2%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より1.3ポイント上昇し、良化傾向(20.0%)を維持。売上についても4.6ポイント低下したものの、良化傾向(26.7%)を維持。収益については0.8ポイント増加し、良化傾向(13.3%)となった。

資金繰りについては14.2ポイント上昇し、良化傾向(26.7%)を維持した。借入によって資金調達を行った先は全体の57.1%であり、10.5%上昇した。

前年同期比売上は10.8ポイント低下となったものの、良化傾向(26.7%)を維持した。同収益については、11.3ポイント低下し、良化傾向(20.0%)を維持した。残業時間については前回調査時から20.0%上昇し、良化傾向(20.0%)に転じた。人材については12.5ポイント上昇し、中立(0.0%)に転じた。設備投資実施企業は前回調査時と比べ6.2%低下したものの、良化傾向(7.1%)を維持した。

■経営上の問題点

経営課題としては、「同業者競争の激化」が7社と最も多く、「商圈人口の減少」「経費の増加」と続いた。

■当面の重点経営施策

当面の対策は「情報力の強化」が最も多く「経費削減」が次点に続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている0社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている5社 (4) 概ね価格転嫁できている0社 (5) あまり影響を受けていない9社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援6社 (2) 地域情報8社 (3) 業界動向3社 (4) 事業課題の共有・相談5社 (5) 補助金等の情報0社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」13社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」14社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」14社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
<p>不動産業は業況・売上・収益DIIに関しては前回調査時からほぼ横ばいの推移という結果となった。また、資金繰りについては資金調達を行った先が増加したこともあり、前回調査時より14.2ポイント改善された。</p> <p>今後3ヶ月見込みに関しては「やや良い」「普通」と回答した企業のみであり、前回同様に業況として良好に推移している結果となった。</p>	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
36.4%	30.0%	-6.4%	27.3%	10.0%	-17.3%	27.3%	10.0%	-17.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
9.1%	30.0%	20.9%	36.4%	30.0%	-6.4%	27.3%	30.0%	2.7%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-9.1%	10.0%	19.1%	9.1%	-10.0%	-19.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
40.0%	60.0%	20.0%	77.8%	55.6%	-22.2%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から6.4ポイント減少したものの、
 良化傾向(30.0%)を維持した。

売上金額については17.3ポイント減少したものの、良化傾向(10.0%)を維持した。

収益についても17.3ポイント減少したものの、良化傾向(10.0%)を維持した。

一方で材料価格については5.5ポイント低下し、悪化傾向(-45.5%)を維持した。

前年同期比売上は前回調査時から6.4ポイント低下したものの、良化傾向(30.0%)を維持した。

同収益については2.7ポイント上昇し、良化傾向(30.0%)を維持した。

人材については19.1ポイント低下し、悪化傾向(-10.0%)に転じた。

一方で、残業時間については19.1ポイント上昇し、良化傾向(10.0%)に転じた。

借入によって資金調達を行った先は前回より20.0ポイント上昇し、60.0%であった。

設備投資を行った先は全体の55.6%であり、前回調査時より22.2ポイント低下した。

■経営上の問題点

今回は「人手不足」が8社で最も多く、次点で「利益幅の減少」「人件費の増加」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

当面の重点経営施策は前回調査では「経費削減」と回答する企業が最も多かったが、

今回調査では「人材確保」が最も多かった。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている2社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている4社 (4) 概ね価格転嫁できている1社 (5) あまり影響を受けていない2社 (6) 今後影響を受ける見込みである2社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援5社 (2) 地域情報6社 (3) 業界動向3社 (4) 事業課題の共有・相談3社 (5) 補助金等の情報1社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」5社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」5社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」5社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
<p>前回調査時より業況・売上・収益の全項目においてポイント減少したものの、良化傾向を維持した。 材料価格については前回調査時よりさらに5.5ポイント低下しており、物価上昇による利益幅の減少は深刻化している。 また、人流についてはコロナ以前の状態に戻りつつあり、経営上の問題点を「人手不足」とする企業が多く「人材確保」を重要視する企業が目立った。</p>	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-23.3%	3.2%	26.6%	6.7%	9.7%	3.0%	-26.7%	-12.9%	13.8%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-6.7%	-3.2%	3.4%	20.0%	35.5%	15.5%	-6.7%	-3.2%	3.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-6.7%	0.0%	6.7%	-3.3%	-3.2%	0.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
44.8%	41.9%	-2.9%	31.0%	12.9%	-18.1%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時から26.6%上昇し、良化傾向(3.2%)に転じた。売上に関しては3.0ポイント上昇し、良化傾向(9.7%)を維持。収益については13.8ポイント上昇したものの、悪化傾向(-12.9%)を継続する結果となった。仕入れ価格については、前回調査時より24.3ポイント上昇したものの、悪化傾向(-29.0%)を維持した。在庫については前回比で0.4ポイント上昇したものの、悪化傾向を維持した。

前年同期比売上については15.5ポイント上昇し、良化傾向(35.5%)を維持。また、同収益については3.4%上昇したものの、悪化傾向(-3.2%)を維持した。人材については前回からほぼ横ばい推移となった。残業時間については前回調査時より6.7ポイント上昇し、中立を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の41.9%でほぼ横ばいとなった。設備投資割合については、前回調査時より18.1%低下した。

■経営上の問題点

前回調査時と同様に「材料高」が10社で最も多く、次点に「売上停滞・減少」が9社と続いた。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」「人材確保」が10社で最も多く、次点は「経費削減」が9社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている3社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている13社 (4) 概ね価格転嫁できている9社 (5) あまり影響を受けていない3社 (6) 今後影響を受ける見込みである1社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援17社 (2) 地域情報5社 (3) 業界動向7社 (4) 事業課題の共有・相談7社 (5) 補助金等の情報6社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング4社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」6社、「普通」16社、「やや悪い」5社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」3社、「やや良い」7社、「普通」15社、「やや悪い」5社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」2社、「やや良い」5社、「普通」17社、「やや悪い」6社、「悪い」0社

業況・売上・収益においてともに前回調査時より上昇しているが、仕入れ価格は以前悪化傾向にあり、収益は悪化傾向を継続している。重点経営施策に「資金繰り安定」と回答する企業も多く、資金繰り支援を求める企業の割合が特に多い結果となった。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
42.9%	50.0%	7.1%	42.9%	50.0%	7.1%	28.6%	35.7%	7.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
50.0%	35.7%	-14.3%	21.4%	21.4%	0.0%	42.9%	21.4%	-21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
7.1%	-7.1%	-14.3%	0.0%	-14.3%	-14.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
64.3%	64.3%	0.0%	21.4%	7.1%	-14.3%			

■概況 ※()内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回調査時から7.1ポイント上昇し、良化傾向(50.0%)を維持した。

売上金額についても7.1ポイント上昇し良化傾向(50.0%)を維持。

受注残高は前回調査時よりも21.4%減少したものの、良化傾向(21.4%)を維持した。

収益については、前回調査時から7.1%上昇し、良化傾向(35.7%)を維持した。

資金繰りについても、前回から14.3%低下したものの、良化傾向(35.7%)を維持した。

前年同期比売上は前回からほぼ横ばいに推移している。

同収益については、前回調査時から21.4ポイント低下したものの、良化傾向(21.4%)を維持した。

残業時間については前回から14.3ポイント低下し、悪化傾向(-7.1%)に転じた。

人材についても前回調査時から14.3ポイント低下し、悪化傾向(-14.3%)に転じた。

借入により資金調達を行った先は64.3%であり、前回調査時から横ばいに推移した。

■経営上の問題点

前回同様、「原材料高」が9社と最も多く、次点では「人手不足」が6社と続いた。

■当面の重点経営施策

「人材確保」が6社で最も多く、次点で「経費節減」「技術力・営業力強化」が5社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている0社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている3社 (4) 概ね価格転嫁できている9社 (5) あまり影響を受けていない1社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援7社 (2) 地域情報7社 (3) 業界動向3社 (4) 事業課題の共有・相談5社 (5) 補助金等の情報3社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7) その他2社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」10社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」10社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
業況・売上・収益DIにおいて前回調査時よりも上昇し、良化傾向を維持した。 前年同月比売上のポイントが上昇している一方で、同収益のポイントは減少となっている。 前回同様に、経営上の問題点として「原材料高」と回答した企業の割合が建設業は最も多く、その中で価格転嫁できているとの回答が多くあった。 今後3ヶ月見込みについては「良い」「やや良い」と回答した企業は前回より減少した一方で、「やや悪い」「悪い」と回答した企業はなく改善傾向がみられた。	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	44.4%	44.4%	-11.1%	0.0%	11.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.1%	11.1%	0.0%	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-22.2%	-22.2%	0.0%	-22.2%	-11.1%	11.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
33.3%	33.3%	0.0%	55.6%	55.6%	0.0%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より11.1ポイント上昇し、良化傾向(11.1%)に転じた。
売上金額が44.4%上昇し、良化傾向(44.4%)に転じた。
収益については11.1%上昇し、中立に転じた。

資金繰りについても前回調査時から横ばいに推移し、良化傾向(11.1%)を維持した。

借入によって資金調達を行った先や設備投資を行った先は前回同様の推移となった。

前年同期比売上は前回より11.1ポイント上昇し、良化傾向(33.3%)を維持した。
同収益については、11.1ポイント上昇し、良化傾向(11.1%)に転じた。

人材については11.1ポイント上昇したものの、悪化傾向(-11.1%)を維持した。
残業時間については、前回調査時から横ばいに推移している。

■経営上の問題点

前回調査と同様に「経費の増加」が4社で最も多く、次点に「人手不足」が3社と続いた。

■当面の重点経営施策

「料金調整」がともに4社と最も多く、次点で「販路拡大」「社員教育」「経費削減」が3社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている2社 (2) 全く価格転嫁できていない2社 (3) 一部価格転嫁できている3社 (4) 概ね価格転嫁できている2社 (5) あまり影響を受けていない1社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援4社 (2) 地域情報2社 (3) 業界動向3社 (4) 事業課題の共有・相談4社 (5) 補助金等の情報0社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」5社、「やや悪い」3社、「悪い」0社

業況・売上・収益DIの全項目において、前回調査時から上昇しており改善傾向にある。
また、前年同期比売上、同収益についてもポイント上昇し、良化傾向に転じている。
しかしながら、「料金調整」を経営課題に挙げる企業が最も多く、価格転嫁できている企業とできていない企業に分かれる結果となった。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
25.0%	0.0%	-25.0%	33.3%	-8.3%	-41.7%	25.0%	0.0%	-25.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.7%	25.0%	8.3%	33.3%	0.0%	-33.3%	25.0%	-8.3%	-33.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-25.0%	-8.3%	16.7%	-33.3%	-41.7%	-8.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
45.5%	36.4%	-9.1%	54.5%	45.5%	-9.1%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査から25.0ポイント低下し、中立に転じた。
売上金額についても同様に41.7ポイントと大幅に低下し、悪化傾向(-8.3%)に転じた。
ペット稼働率についても-33.3ポイント低下し、悪化傾向(-8.3%)となった。
通院者数については前回から25.0ポイント低下したものの、良化傾向(16.7%)を維持した。
収益についても前回調査より25.0ポイント低下し、中立に転じた。

資金繰りについては8.3ポイント上昇し、良化傾向(25.0%)を維持。
借入によって資金調達を行った先は全体の36.4%であり、前回から9.1ポイントの低下となった。
設備投資を行った先は45.5%と前回より9.1ポイント低下となった。

前年同期比売上は前回調査時から33.3ポイント低下し、中立に転じた。
同収益についても同様に、33.3ポイント低下し、悪化傾向(-8.3%)に転じた。
残業時間は前回から16.7ポイント改善したものの、悪化傾向(-8.3%)を維持した。
人材については前回から8.3ポイント低下し、悪化傾向(-41.7%)となった。

■経営上の問題点

前回と同様に「人手不足」が最も多く6社であった。次点で「人件費の増加」「経費の増加」がそれぞれ4社と続いた。

■当面の重点経営施策

前回と同様に「人材確保」が9社で最も多く、次点で「経費削減」が3社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている3社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている2社 (4) 概ね価格転嫁できている2社 (5) あまり影響を受けていない2社 (6) 今後影響を受ける見込みである1社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援3社 (2) 地域情報7社 (3) 業界動向1社 (4) 事業課題の共有・相談2社 (5) 補助金等の情報1社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」11社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

業況・収益DIにおいてともに25.0ポイント低下しており、中立に転じた。また、売上においては▲41.7ポイントと大幅に減少し、悪化傾向に転じている。
また一方で、人材DIは前回調査時より8.3ポイント低下しており、悪化傾向を維持。前回調査同様、「人手不足」が経営上の問題点としてあげられている。
信用金庫に求めることとして「地域情報」という回答が最も多くあった。